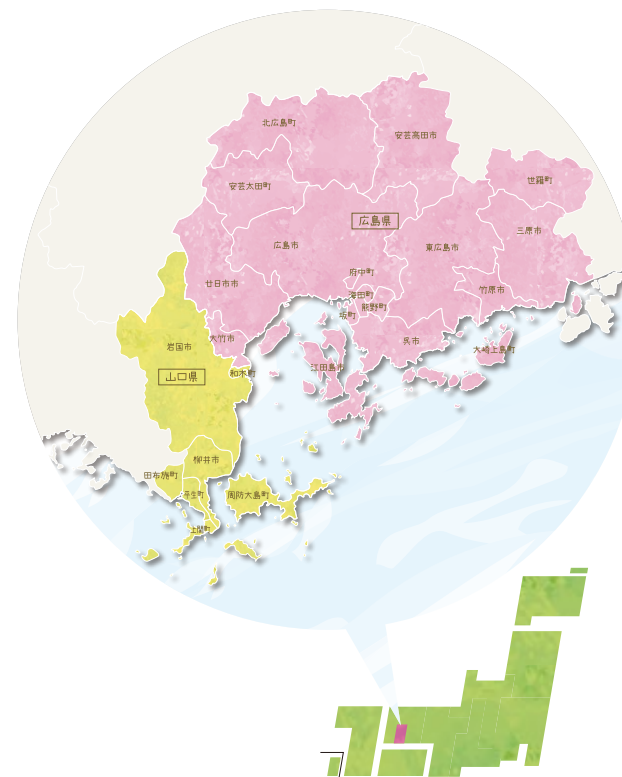


TURNS

ひろびろ広島・ぶちええ山口



広島広域都市圏

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/kouiki/>

広島市企画総務局 企画調整部 広域都市圏推進課
〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6番34号
電話 082-504-2017 FAX 082-504-2029
E-mail kouiki@city.hiroshima.lg.jp



都会と自然のいいところ取りませんか？

「広島広域都市圏」は広島市の都心部からおおむね 60 km の圏内にある広島県と山口県の 24 の市と町で構成された地域で、「都市と自然の近さ」が大きな特徴です。広島市とその周辺市町の間での高速道路ネットワークが整備され、エリア内の各市町を短時間で結んでいます。そのため、どこに住んでも、都会の便利さと自然の安らぎを感じることができます。瀬戸内海と中国山地に抱かれ、豊かな自然の中で育まれた広島広域都市圏で、理想の暮らしを実現しませんか？

自然環境・
周辺環境が良い

街と山・海が
近い

家・土地が
安い

仕事がある

農林
水産業が
できる

人が温かい

趣味が満喫できる

住んでいた
ことがある

景観・観光地
が良い

カープが
大好き

会社員からハウス栽培農家に転身！
三原さんと渡部さん (P09)

妻の郷里で焙煎コーヒー店開業。
藤山博康さん (P06)

漁師を目指して移住し、
独立した加賀達成さん (P05)

銀行員から農業に
ジョブチェンジした
伴井護さん (P08)

趣味の狩猟をシゴトに変えた
和泉川健太郎さん (P10)

移住先で腕を振るう
フレンチシェフ山崎真児さん
(P07)

協力隊を経て、
新たな島おこしへ。
高島俊思さん (P04)



Access

路線	区間	所要時間	備考
新幹線	博多 - 新大塚	約1時間	
	博多 - 新大塚	約4時間	
	博多 - 新大塚	約1時間25分	
	博多 - 新大塚	約1時間30分	
飛行機	広島空港 (三原市) - 東京	1日18往復 約1時間20分	
	岩国錦帯橋空港 - 東京	1日5往復 約1時間30分	

地域おこし協力隊 就業

Profile

愛知県 ▶ 広島県呉市
高島 俊思さん (45)
恵理さん (35)

愛知県出身。パラオで観光ガイドに従事。妻・恵理さんとの結婚を機に呉市地域おこし協力隊として下蒲刈島へ。現在、コテージ運営やレンタサイクル事業を手掛けている。



「協力隊の3年間でさまざまなことを学び、新しい事業を生み出すことができました。守るべき家族も増えました」と振り返る高島さん。



「今後はレンタサイクルの台数を増やし、シェアハウス事業もしたい」と夢が広がる。



マラニックでは、高島さんの呼び掛けに200人のボランティアが応え、大会運営を支えた。

3年間の経験で見つけた夢 島の「可能性」に挑む

安芸灘とびしま海道の島の一つ、下蒲刈島。パラオでツアーガイドを務めた経験を持つ高島俊思さんが、コテージ運営やレンタサイクル事業、イベント主催、修学旅行生受け入れの手伝いなどを行っている。

パラオで知り合った妻、恵理さんとの結婚を機に、日本への帰国を決意した高島さん。パラオのように寒くない島で暮らせたら、と思っていたところに、呉市地域おこし協力隊の話を知る。「暮らしの中に海があれば」との思いが叶い、2015年、下蒲刈島へ赴任した。

赴任時に明確な目的や、3年後の夢を描いていたわけではなく、最初は戸惑いがあったという高島さん。しかし、持ち前の行動力と、地域の人や行政の後押しを受け、島民と島外の人が交流するイベント「とびしまイレ」や、7つの島・100キロを走る「とびしまウルトラマラニック」を成功させた。任期を終える頃には、自分しかできないこと、やりたいことが明確になった。近くに病院や保育園があり、2人の子どもの子育て環境にも満足しているという。「この島にはたくさんの可能性があります。島を盛り上げるプレイヤーを増やしたい」と話す高島さんの地域おこしはこれからが本番だ。

会社員 漁師

Profile

埼玉県 ▶ 山口県田布施町
加賀 達成さん (27)
聖奈さん (24)

埼玉県出身。漁業就業支援フェアで田布施町を知り、2年間漁師の研修を受けた。2016年からは独立型漁師として、底引き網漁に励んでいる。



「若い人たちが気軽に立ち寄れる、コワーキングスペースのような場所があるといいな」と話す達成さんと聖奈さん。



若手世帯の仲の良さも田布施町の特徴。元・地域おこし協力隊で、現在馬島の活性化に取り組んでいる藤田敬太郎さん(33)、枝里香さん(33)夫妻とは家族ぐるみのお付き合い。



小型底引き船「達聖丸」と一緒に。冬場はカニやヒラメ、カレイ、舌平目、イカなどが獲れる。

漁師への道を支えてくれた先輩、師匠、町の支援制度

漁業活性化や後継者育成のため、独立型の漁師を全国から募っている山口県漁協田布施支店。中でも漁業協業体「新鮮田布施」では、獲った魚の加工品販売でも収入を上げるなどして、積極的にニューフィッシャーを受け入れている。

埼玉県で製造業に従事していた加賀達成さんは、小学生の頃から釣り好きで、「いつか漁師になりたい、できれば若いうちにと思っていました」と語る。

2013年4月、気軽な気持ちで立ち寄った東京の漁業就業支援フェアで、田布施町の漁師、濱田秀樹さんと出会ったのが転機。加賀さん曰く、「目力と人柄に惹かれ」、6月に田布施町に短期研修に。翌年9月からは、師匠の元で本格的な研修をスタートする。船のリース事業等、手厚い支援制度も田布施行きを後押ししたという。2年間の研修を終えた16年9月、「新鮮田布施」でも若い漁師として独立を果たした加賀さんは、埼玉から聖奈さんと呼び寄せ結婚。妻と自分の名を付けた小型底引き船「達聖丸」を操り、漁に励む。「自分のやりたいことを曲げないことが大切。田布施町には充実した研修や支援制度があるので、体力と若さがあれば大丈夫です」と、次なるニューフィッシャーを待っている。

地域の「伸びしろ」



広島市まで約1時間、素晴らしい景観、不自由のない日常生活と、チャレンジに値する環境が整った下蒲刈島。特に「シェアハウス」「宿」事業は、島が変わる可能性を秘めていると思います。

呉市 瀬戸内海の多島美とつながるまち

- 市域の主要な島はすべて橋でつながり、市内中心部は医療機関等の都市機能が充実。
- 瀬戸内海で漁業、島しょ部で柑橘栽培、旧呉海軍工廠の遺構が息づく工場群でものづくり。
- 呉市移住希望者住宅取得支援事業【市内の一戸建ての中古住宅の購入費 最大100万円助成】

窓口：都市部住宅政策課 TEL0823-25-3394
E-mail: zyutaku@city.kure.lg.jp
URL: https://www.city.kure.lg.jp/soshiki/46/teizyusapootosentar.html

町の魅力 仕事 住まい 子育て

田布施町 美しい自然の中、離島でものんびり過ごせる町

- 桜並木や海水浴場、いちじくや牡蠣、四季折々楽しみが尽きない田布施町。
- 新規就業者(農業や漁業など)への支援の充実/就農体験ツアー
- 空き家バンク制度/田舎暮らしの家「おいでえ」(移住体験)

窓口：経済課地域振興係 TEL0820-52-5805
E-mail: chiiki@town.tabuse.yamaguchi.jp
URL: http://www.town.tabuse.lg.jp



地域の「伸びしろ」



独立型漁師を支える基盤がある「新鮮田布施」。後継者育成事業に力を入れるとともに、真空パックを利用した新たな商品開発や、ふるさと納税を始めるなど、さらなる経営安定を目指しています。

焙煎人 起業

Profile

山口県萩市出身。2018年、大阪から妻の郷里、柳井市に移住し、焙煎コーヒー店をオープン。コーヒー生豆の評価を行うQグレーダーでもある。妻の舞さんはパリスト。



高校、大学と商業科に進み、社会人になっても経営や経理を勉強。これらが事業計画に生きたという。

大阪府 ▶ 山口県柳井市 藤山 博康さん (37) 舞さん (35)



金魚ちょうちんをモチーフにしたパッケージイラストは、柳井ブランドに認定されている。



店舗は焙煎豆を販売するほか、ゆったりとしたカフェスペースも備えている。

計画性と積極性が生み出した 移住地でのつながりと縁

2018年9月、山口県柳井市にオープンしたフジヤマコーヒーロースターズ。コーヒー焙煎士の藤山博康さんとパリストの舞さん夫妻が営むスペシャルティコーヒー専門店だ。二人は大阪のカフェ勤務を通じて出会い、15年に結婚。将来のことを話す中で、「お互いの故郷である山口県でお店をしよう」と思いが一致し、18年に舞さんの実家がある柳井市にリターンした。

創業にあたって、博康さんは経営や経理の勉強を重ねた。シビアな見通しの事業計画書を作成し、銀行や知人の経営者からもアドバイスをもらったという。「場所と数がものを言う大阪と、ほどよい田舎の柳井は何もかも別物」と冷静に捉え、移住後には妻の同級生や地元の人と積極的に交流した。開業準備中に、Qグレーダー資格を取得。県内外のイベントに出店して、店をPR。いつかは出店したいと思っていた観光地「白壁の町並み」にも、思わぬご縁があり、本店より先に「やない白壁出張所」をオープンすることができた。

店舗では常時15種類の豆を販売。光が差し込むおしゃれな店内は朝8時半からお客でにぎわう。「柳井をコーヒーで盛り上げていきたい」。コーヒーが縁で出会った2人の言葉が頼もしい。

料理人 起業

Profile

千葉県出身。東京の飲食店で働いた後、28歳の時にフランスへ。10年後に帰国し、東京から三原市へ移住。2018年5月にフレンチレストラン「aura」をオープン。



有機野菜を栽培する農家の畑から、自ら収穫した新鮮野菜と、佐木島産レモン。



元ギャラリーだった店舗との出会いが、三原市へ移住したきっかけの一つ。

中心市街地に再び活気も 出店支援が移住を後押し

「ロメインレタス、クレソン、セルフィーユ、マッシュルーム」。フレンチレストラン「aura」のオーナーシェフ、山崎真児さんが見せてくれた野菜は、どれも力強く新鮮だ。それもそのはず、これらの野菜は全て三原市内の農家で、山崎さん自ら選んで収穫したものだ。山崎さんにとって、自分の目で見て選んだ野菜を自由に採取できることは驚きでもあり、喜びだったそう。他にも、佐木島のレモンや隣接する竹原市の峠下牛といった地元食材も使用する。

かつて東京の飲食店に勤務した山崎さんは、28歳の時渡仏し、10年間腕を磨いた。年を重ねた両親のことが気になり日本へ戻るが、地方の小さな町で店を持ちたいと思っていたという。

知人の紹介で2016年5月に尾道を訪れた際、立ち寄った三原市の佐木島の美しさに惹かれた。その後広島県の「片道交通費支援制度」を利用し、再び三原市へ。他にも候補地があったが、住宅地にある今の店舗が気に入ったこと、中心市街地への出店支援制度が充実していることが決め手となり、18年1月に三原市へ移住した。同年5月にレストラン「aura」を開店。「使ってみたい食材がたくさんあるんです」と、一周年を迎える料理人の挑戦は続いていく。

地域の「伸びしろ」



三原市は、飲食店が減り、食事するところが少ない印象です。三原市を通過し、福山市や尾道市へ食事に行く人たちが立ち寄ってくれるよう、この地の飲食業界を盛り上げていきませんか。

三原市 「瀬戸内の風光明媚な城下町「みはら」

- 広島空港がある三原市は瀬戸内の豊かな自然と充実した都市施設が魅力です。
- 空路・陸路・海路が揃う三原は、古くからのづくりが盛んな街です！
- 住宅購入上限100万円補助、家賃上限3年・108万円補助、空き家バンク・改修上限30万円補助



窓口：地域企画課 TEL0848-67-6011
E-mail: chiikikikaku@city.mihara.hiroshima.jp
URL: <http://www.city.mihara.hiroshima.jp/soshiki/21/teijuu.html>



柳井市 海も山も街も近くて暮らしやすい田舎

- 日照時間は全国トップクラス。病院もお店も多くて人が集まる街。
- 市内の通勤時間は最大15分。落ち着いた瀬戸内ライフが満喫できます。
- 子育て世代定住促進助成金制度(最大150万円を助成)



窓口：地域づくり推進課 TEL0820-22-2111(内線461)
E-mail: chiikizukuri@city.yanai.jp
URL: <https://www.city.yanai.jp>



地域の「伸びしろ」



おいしいパン屋や洋菓子店、フレンチの店がもっとたくさんあれば、柳井はもっと盛り上がると思います。柳井で創業を考えている人には、いつでも私の経験やアドバイスを伝えたいと思います。

銀行員

転職・週末起業

Profile

奈良県出身。銀行に4年勤めた後、2016年に安芸高田市に移住。農業法人に勤務する傍ら、週末起業し落花生栽培も楽しんでいる。妻・友里絵さんは京都府出身。



「農業はきついと思われがちですが、そんなことはありません。情報が豊かで農機具が進化した今は、体にも負担がないやり方になっています」と護さん。

大阪府 ▶ 広島県安芸高田市

伴井 護さん (28) 友里絵さん (28)



落花生は、出荷すればすぐに完売する人気ぶり。収穫後に植えたジャンボニンニクも順調に育っている。



庭や池のある中古住宅を購入し、妻と2人で少しずつ改修している。隣の畑も購入予定。

未経験の農業に転職して2年 仕事も副業も順調な日々

銀行員の伴井護さんは、会社員の友里絵さんと結婚し、大阪で暮らしていた。人が多く、自然がない生活に次第に閉塞感を感じ、もともと農業に興味があった友里絵さん同様、護さんも「銀行の世界しか知らない人生より、自分たちの手で生きていきたい」と思うようになった。「まずは食から」と購入した無農薬米が安芸高田市産だったことから、気軽な気持ちでHPを閲覧し、2016年5月に初めて安芸高田市を訪れる。「来年3月から農業法人に空きがある」と勧められたことや、地域の人たちの温かさが後押し。翌年2月に銀行を退職し、3月1日に夫婦で安芸高田市に移住する。

転職先の農業法人では、ビニールハウスの中で大規模に水耕栽培されている青ネギを担当。昨年4月には、20、30代の兼業農家メンバー4人で合同会社「プチファーム」を立ち上げ、週末を利用して落花生やジャンボニンニク栽培も行っている。「就職先では丁寧に指導してもらい、休みの日は週末起業を楽しんだり、妻と自宅の改修をしたりと、充実した毎日を送っています」と護さん。消防団にもすぐに入団し、隣人も知らなかった大阪より人との交流がある毎日だ。安芸高田市での暮らしは、実家と同じくらいほっとするという。二人はすっかりこの地に溶け込んでいる。

会社員

就農

Profile

ともに広島市出身。三原さんは江田島市の農園でトマト栽培を経験後に移住。渡部さんはガソリスタンド勤務からの転身。ひろしま活力農業経営者育成研修から就農の2人。

広島市・広島市 ▶ 広島県安芸太田町

三原 朋之さん (30) 渡部 正秀さん (32)



広島市農林水産振興センターとJA広島市、安芸太田町が、ビニールハウスや農地の手配等の他、農業経営のシミュレーション、生産計画、簿記、税金などの指導も行い、経営を全面的にバックアップ。(渡部さん⑤と三原さん)



出荷を待つ小松菜。害虫や病気、成長の疑問などは、写真に撮って連絡を取り合い、失敗も糧に次に生かしているという。



農家と県担当者、JA指導員たちが月に一度集まり情報交換する「経営者部会」が昨年発足した。

育成研修を経て安芸太田町へ 「経営者」目指す農業男子

1年間の葉物野菜栽培の基礎研修の後、就農予定地で8カ月の実地研修を行い、自立した専業農家を育てる「ひろしま活力農業経営者育成研修制度」。広島市が広域連携により行っている。発足以来、広島市に38人、安芸太田町に4人の新規就農者が誕生している。

その中の一人、三原朋之さんは、広島県立農業技術大学で学び、江田島市でトマト栽培をしていたが、先に就農していた知人の誘いで、妻の実家の安芸太田町へ「嫁ターン」。研修を経て、2017年12月から小松菜栽培をスタートした。手間のかかる出荷作業は業者に一任し、他の作業時間を確保するなど工夫。2年目に入った現在は、土壌改善に力を入れてつつ安定収入を目指している。

その翌年には、ガソリスタンドで働いていた渡部正秀さんが「同じことの繰り返しではなく、ものづくりがしたい」とターーン。父親と妹と力を合わせ、疑問があれば営農指導員や三原さんに質問するなどして1年目を終えようとしている。2年目は、栽培が難しいが高値が期待できるホウレンソウ栽培も視野に入れているそうだ。2人は「まずは3000㎡のビニールハウス内をしっかりと回転、充実させたい」と話してくれた。

地域の「伸びしろ」



ここでは、初期投資が小さみちな農機具や農地を『ぜひ使ってほしい』と言っていただけるのも魅力。週末起業の落花生栽培の仲間を増やし、いずれは名産にしていけたらいいなと思っています。

安芸高田市 農業を働きながら学ぶなら、安芸高田市で。

- 広島市内まで1時間。/仕事、買い物、レジャーなどで行ったり来たり。
- 農業法人への就職をお手伝い。/就職や起農により4年間で19名が就農。
- 空き家バンクは3年間で81軒契約。/セルフビルドの先輩もいます。

窓口：企画振興部地方創生推進課 TEL0826-42-2124
E-mail: chihouseusei@city.akitakata.jp
URL: http://www.akitakata.jp

地域の「伸びしろ」



加工品開発や、規格外野菜の活用など、農業にはもっとできることがあります。(三原さん)
経営が安定・拡大すれば、雇用も拡大。安芸太田町の農業を盛り上げたいです。(渡部さん)

安芸太田町 やさしい自然と人に“ホッ”(*^v^*)

- 清流と緑に囲まれた田舎暮らしを堪能!!広島中心部へも近く、ほどよい田舎暮らしが実現できる。
- 起業助成実績は45事業者!!就農制度で4名が活動中!町も全面バックアップします!!
- 待機児童なし!18歳まで医療費助成あり!保育園から高校まで一貫した教育が受けられます!

窓口：地域づくり課 TEL0826-28-2112
E-mail: chiki@akiota.jp
URL: http://akiota-kurashi.com/
研修制度の相談：(公財)広島市農林水産振興センター TEL082-842-4421

その他の広島広域都市圏市町

海や山の豊かな自然と高い都市機能が調和した地域。
あなたらしい暮らしの形を見つけてみませんか。

北広島町 世界に誇る伝統芸能や地元グルメが自慢

窓口：企画課 TEL050-5812-1856
E-mail：teiju@town.kitahiroshima.lg.jp
URL：https://www.town.kitahiroshima.lg.jp/site/teiju-joho/

大崎上島町 瀬戸内海の離島で暮らしてみませんか

窓口：地域経営課 TEL0846-65-3123
E-mail：shinko01@town.osakikamijima.lg.jp
URL：http://www.town.osakikamijima.hiroshima.jp

世羅町 暮らしやすさ抜群！大自然と便利が融合する町

窓口：企画課 TEL0847-22-3206
E-mail：kikaku@town.sera.hiroshima.jp
URL：http://www.town.sera.hiroshima.jp/

岩国市 あなたの暮らしの「ちかくに いわくに」

窓口：いわくに暮らしサポートセンター TEL0120-28-1892
E-mail：office@iwakunimachinaka.com
URL：https://yumekana-iwakuni.jp

周防大島町 だから周防大島に住みました。

窓口：定住促進協議会(政策企画課内) TEL0820-74-1007
E-mail：info@teiju-suo-oshima.com
URL：http://teiju-suo-oshima.com/

和木町 都会と田舎のいいとこ取り イッツアスモール和木町

窓口：企画総務課 TEL0827-52-2136
E-mail：somu@town.waki.lg.jp
URL：http://www.town.waki.lg.jp/

上関町 上関で送る!のんびり海適(快適)ライフ

窓口：総合企画課 TEL0820-62-0316
E-mail：kikaku@town.kaminoseki.lg.jp
URL：http://www.town.kaminoseki.lg.jp/

平生町 ここは、日本のイタリア半島 イタリア〜ノひらお

窓口：地域振興課 TEL0820-56-7120
E-mail：machi@town.hirao.lg.jp
URL：http://www.town.hirao.lg.jp

広島市 農業者育成に20年の実績あり!

窓口：企画総務局地域活性推進課 TEL082-504-2837
E-mail：chiikikassei@city.hiroshima.lg.jp
URL：http://www.city.hiroshima.lg.jp/ 「活力農業」で検索

竹原市 海、山、街が隣接するコンパクトシティ

窓口：産業振興課 TEL0846-22-7745
E-mail：kankou@city.takehara.lg.jp
URL：http://www.city.takehara.lg.jp/

大竹市 働いて・学んで・遊んで暮すのも夢じゃないまち

窓口：総務部企画財政課 TEL0827-59-2125
E-mail：kikaku@city.otake.hiroshima.jp
URL：www.city.otake.hiroshima.jp

廿日市市 子どもの未来、親の現在に、ちょうどいい!

窓口：シティプロモーション室 TEL0829-30-9221
E-mail：citypromotion@city.hatsukaichi.lg.jp
URL：http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/

江田島市 島ときどき街 ほどよい島暮らし

窓口：企画部企画振興課 TEL0823-43-1630
E-mail：kikaku@city.etajima.hiroshima.jp
URL：http://www.city.etajima.hiroshima.jp/cms/categories/show/155

府中町 野球観戦も自転車でも！近くて便利な府中町

窓口：政策企画課秘書広報係 TEL082-286-3127
E-mail：kikaku@town.fuchu.hiroshima.jp
URL：https://www.town.fuchu.hiroshima.jp/site/citypromotion/

海田町 都心に近く自然豊かなこの町で子育てを楽しもう!

窓口：企画部 魅力づくり推進課 TEL082-823-9234
E-mail：miryoku@town.kaita.lg.jp
URL：http://www.town.kaita.lg.jp

熊野町 都会じゃないけど田舎じゃない

窓口：地域振興課 TEL082-820-5602
E-mail：kanko@town.kumano.lg.jp
URL：http://www.town.kumano.hiroshima.jp/

坂町 海も街もすぐそこ!仕事も遊びも充実を!

窓口：企画財政課 TEL082-820-1507
E-mail：kikaku@town.saka.lg.jp
URL：http://www.town.saka.lg.jp/sakagurashi/

広島市 ▶ 広島県東広島市

和泉川 健太郎さん (49)



駆除により仕留めた鹿やイノシシが冷蔵されている。まだ手作業の工程が多く、設備の充実も課題の一つ。



自社で開発、商品化したサブリ「アンドプラス」。さわやかなレモン風味が特徴。

Profile

広島県府中町出身。狩猟中心の生活をしたいと2014年に東広島市へ転居し、16年3月に食肉処理場を開業。ジビエ肉加工や新商品開発、害獣駆除などを行っている。



仕留めた鹿やイノシシを自ら搬入し、ジビエセンターですぐに処理。長い経験で培われた、和泉川さんならではの技能だ。

ジビエ市場拡大と商品開発
狩猟ビジネスは新たな局面へ

20代の頃から、趣味で狩猟を始めた和泉川健太郎さん。会社員として働きながら、いつしか「狩猟を仕事の中心にしたい」と思うようになり一念発起。2014年、東広島市豊栄町に居を構えた。増え続ける害獣駆除の依頼や、ジビエ肉ブームが後押しし、狩猟をビジネスにしようと立ち上げたのが「東広島ジビエセンター」。ここで処理した鹿肉やイノシシ肉は、卸業者を介し全国へ流通。現在、同センターには広島市から2年前に移住した猟師でありセンター長の保村晃さんやパートナーたち、計4名が就業している。

和泉川さんの元へは、20〜30代の若者が「猟についていきたい」「教えてほしい」とよく訪ねてくるという。広島県内の猟師は60代が一番多く、あと10年もすればぐっと減ると予想される。閉鎖的な世界ながら、和泉川さんは希望者を迎え入れ、惜しみなく技術を伝えている。

構想から1年、鹿の胎盤から抽出した希少成分プラスを使ったサブリ「アンドプラス」が商品化。狩猟は、害獣駆除、農業被害減という山間地域の課題を解決するビジネスであるとともに、新たな活路も見い出した。さらなる新商品開発も視野に入れ動き出した狩猟界は、若手の参入を待っている。

東広島市 酒都、東広島。子育て世代に選ばれて、人口増加中!

- 市街地あり、里山あり、海辺あり。夢見たライフスタイルが実現。
- 広島県内が通勤圏。お店や工房づくりも創業支援制度でお手伝い。
- 4大学・研究機関が立地。多様な人材が集まり子育て環境も充実。

窓口：広報戦略課 TEL082-437-3021
E-mail：hgh200919@city.higashiroshima.lg.jp
URL：http://www.city.higashiroshima.lg.jp/ijj/

地域の「伸びしろ」



豊栄町といえば農業。若手就農家が農による地域再生に取り組んでいます。ジビエ肉の販路拡大や消費増のためにも、魅力ある地域づくりや、地域に人を呼び込めるアイデアが求められています。